

◆ 学びのポイント



## 自らの表現力や鑑賞力を磨き、子どもの表現と鑑賞力を導く力量を培う

学校における児童・生徒の成長・発達を捉えられるように、美術教育専修科目を核としながらも、教育学科目、心理学科目、特別支援教育科目、他教科専修科目などと関連づけて学びます。



北海道教育大学との連携企画として、奈良の町家を活用した芸術祭に参加しました。狩野准教授指導



展覧会準備で効果的な展示の仕方を学びます。



絵画II 授業 人物素描



初等教科実践指導 図画工作指導に必要な基礎的な知識・技能について学びます。竹内教授指導



## 子どもとふれあい、地域とつながる

- (1) 地元奈良の伝統文化や文化遺産に刺激を受けながら、自らの造形的な力量形成を行い、子どもの造形的な力(表現力、鑑賞力)を育成するための内容と方法を学びます。
- (2) 教育実習、大学祭での活動「造形ひろば」、スクールサポート、フレンドシップ事業などを通して、子どもとふれあう体験を積み、対応力を学びます。
- (3) 図画工作・美術教育の学修を通して、広く現代社会の現状や課題に関心をもち、社会に貢献する姿勢を学びます。



## 研修合宿や卒業研究/制作発表展などの活動を通して、企画力や運営力を培う

学生が主体的に動く活動として、専修メンバー全体が参加する研修合宿、学外施設での青丹彩展、卒業研究/制作発表展、地域の子どもたちに向けた大学祭での「造形ひろば」、奈良県曾爾村での「わくわくアートプロジェクト」などの活動があります。これらの活動を通して、企画力や集団を動かす力を養います。

◆ 学びの領域

## 子どもを知り、教科内容のあり方を学ぶ3つの領域

平面・立体・教科教育の3領域から構成されるカリキュラム。2年次までに各領域の基礎を学び、3年次以降は各自が専門領域に選んだ研究室で学びを深め、その成果を卒業論文・卒業制作にまとめます。

### 図画工作・美術科教育学

造形学習理論、美術教育史、美術理論など

### 平面表現

絵画、版画、デザインなど

### 立体表現

彫塑、工芸など



11月の大学祭での「造形ひろば」土粘土でお菓子や動物を作ります。指導者として子供と接する体験ができます。4回生 久保拓人君 宇田教授指導

小・中学校における児童、生徒の成長・発達を捉えた指導・支援をするとともに、造形的な力(表現力、鑑賞力)を着実に育むことのできる教員を養成します。

美術教育専攻の授業スケジュール

【2回生前期の一例(小学校、中高の美術、特別支援免許を取得予定)】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	板書実践指導	初教法生活	生徒指導			絵画Ⅰ
3・4時限		先端科学の基礎概念	病弱児の医学と心理	教育経営行政理論	外国語コミュニケーション(英語)	学習指導と学校図書館
5・6時限	教育法・メディア	学校経営と学校図書館		彫刻Ⅰ	初教法算数	
7・8時限	体育実技	中等教科教育法Ⅰ(美術)		西洋美術史Ⅰ	工芸Ⅲ	
9・10時限				美術概論	デザインⅢ	



工芸Ⅰ-Ⅳ

土という素材の基本的な扱い方、「土の表情」の発見と応用、実用品の制作での留意点の把握、石膏型を使った陶磁器作りなどを通して陶芸表現分野の特質や魅力を追究します。ひも作り、たたら作り、釉薬、焼き味、型からの成形などを学びます。

「工芸Ⅰ」原山准教授指導  
土と親しみながら楽しく学びます。



青丹彩展で作品を講評する狩野准教授

絵画Ⅰ-Ⅲ

絵画における人体の構造、構図、グラフィックソフトを用いた映像メディア表現などを学び、現代における造形表現の広がりをふまえた絵画表現を追究します。

Graduate's Voice

卒業生の声

「表現する楽しさを  
子供達に伝える」



美術教育専攻卒業生

納多 佑香さん  
(令和元年度卒)

瀬戸 美里さん  
(令和元年度卒)

本専攻では、絵画、彫刻、工芸、デザインなどの実技の授業と、美術史、生徒指導、美術科教育法などの座学の授業によって、小・中・高校の美術の先生になる力をつけることができます。また幼稚園・特別支援学校・他教科の免許も取得することが可能な場合があります。大学生活では、作品を展示する青丹祭(あおにさい)展、研修旅行、卒業・修了展覧会などの専攻独自のイベントを毎年行っています。1回生から4回生の学部生から院生、先生方まで参加し、毎年同期・先輩・後輩と協力しながら親睦を深めています。

図画工作・美術が好き!美術を楽しみたい!そして子どもたちにもその楽しさを伝えたい!そんな思いを持っている方、ぜひ美術教育専攻へ!お待ちしております。

主な開講科目

保育内容の指導法(造形表現)/初等教科教育法(図画工作)/中等教科教育法Ⅰ-Ⅳ(美術)/デザインⅠ(映像メディア表現を含む。)/デザインⅡ-Ⅲ/デッサンⅠ-Ⅱ/彩画/絵画Ⅰ-Ⅲ/彫刻Ⅰ-Ⅲ/実材/工芸Ⅰ-Ⅳ/アジアの中の日本美術史

取得できる免許状

- ・[初等教育履修分野]小学校教諭一種等
  - ・[中等教育履修分野]中学校教諭一種(美術)等
- (P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路

小学校教諭、中学校美術科、高校美術科教諭が主な進路です。その他、特別支援学校教諭、幼稚園教諭、保育士、高校や大学の講師、公務員、デザイン関連会社、工房、芸能などの場で活躍しています。

教員および専門分野(令和2年5月1日現在)

- ・宇田 秀士教授/図画工作・美術科教育  
題材開発に基づいた授業研究、近代日本美術教育実践史研究
- ・竹内 晋平教授/図画工作・美術科教育  
図画工作・美術科授業研究、生涯学習と美術に関する研究
- ・狩野 宏明准教授/絵画  
絵画における空間表現の研究と制作、絵画教育への活用
- ・原山 健一准教授/工芸  
陶による造形表現の研究、陶芸の教育現場での活用